

[タイムトライアル・ネオ] 競技規程

この競技は、1名もしくは1組2名までの人間と1頭の犬のチームで行い、決められた距離以上を決められた回数、いかに早く往復できるか、スピードとスローイングの正確性を問われる、時間を競う競技です。2ラウンドを行い、早い方の記録が**予選タイム**となり、**決勝を含めた最速タイム**が大会の記録となります。

(1) ディスク

競技は1枚のJディスクでおこないます。ただし、交換用ディスクを予めラインジャッジに渡しておく事ができません。交換ディスクは、使用済ディスクをラインジャッジに手渡した後に受け取れます。

(2) 競技時間

1ラウンドにつき、60秒(1分)でタイムカットとします。

(3) スタート(競技の開始)

競技は本部の合図(「Ready Go!!」)で開始になります。

(スタート位置)

スタートは、競技者および犬ともにスローイングラインの後方(ライン上はファール)からスタートします。

(ドッグファール、フットフォルト)

「Ready Go!!」の合図の前に犬がスローイングラインを越えたままスタートするとファールとなり、その時に投じたディスクをキャッチしても無効です。

また、1投目はスタートコーンの内側から犬がスタートしなければなりません。スタートラインのコーンより外側をまわった場合はファールとなり、その時に投じたディスクをキャッチしても無効です。

ドッグファールを解消するには一旦犬をスローイングライン内に戻さなくてはなりません。

投げ手がスローイングラインを踏むか、踏み越して投げた場合はフットフォルトとなり、その時に投じたディスクをキャッチしても無効です。

(4) 人・犬の数

スローワー(人間)は1~2名、犬は1頭とします。

(投げる順番)

2名の場合、スローイングはプレーヤーが交代で行わなければなりません。この順番を守らなかった場合は失格となります。

(5) 規定(距離と回数)

10mライン・20mライン・30mライン・40mライン越えのキャッチを組み合わせ“キャッチ成功の距離が合算で50m以上”に達し、スローイングラインに犬がディスクを保持して戻るまでのタイムを競います。(最短で2キャッチ。距離と回数を組み立てて条件を満たします)

犬の**全ての足**が計測ラインを超えていなければなりません。(ライン上は手前のエリアと判定)

要件成立のキャッチ後、犬がフィニッシュ前にディスクを放してしまった場合、人が代わってディスクを持ち帰ることは有効ですが、その際は犬・人とも(同時でなくても可)にスローイングラインまで戻った時間を計ります。

計測は、規程のキャッチが成功し、基準となる距離を犬がディスクを保持してスローイングラインまで戻ってきた時間を計ります。(犬の体の一部がスローイングラインを越えたところで時間を計ります。)

(6) フィールド

ディスタンス/アキュラシー用コート(全面)を使用します。(資料4参照)

(7) 順位の設定

規定のキャッチングを成功させ、犬がスローイング・ラインに戻ってきた時間が最も短い(早い)チームが上位となります。

《予選:2ラウンド》1R or 2R どちらか早いタイムが**予選タイム**となります。

《決勝》予選タイム上位 3 チーム(タイを含む)により決勝を行います。ただし、エントリー数が単独の場合は決勝は行いません。

記録は各チームとも**全てのラウンドで一番早いタイム**を当日の記録とし、最終順位を決定します。

同タイムの場合は、当該チームを同一順位タイとします。

(8) その他

D/A同様にサイドラインのエッジアウトを適用します。エッジアウトでのキャッチは無効。

ジャッジは3名(メイン(スタート&フィニッシュ)+サブジャッジ(サイド)2名)を配置する。